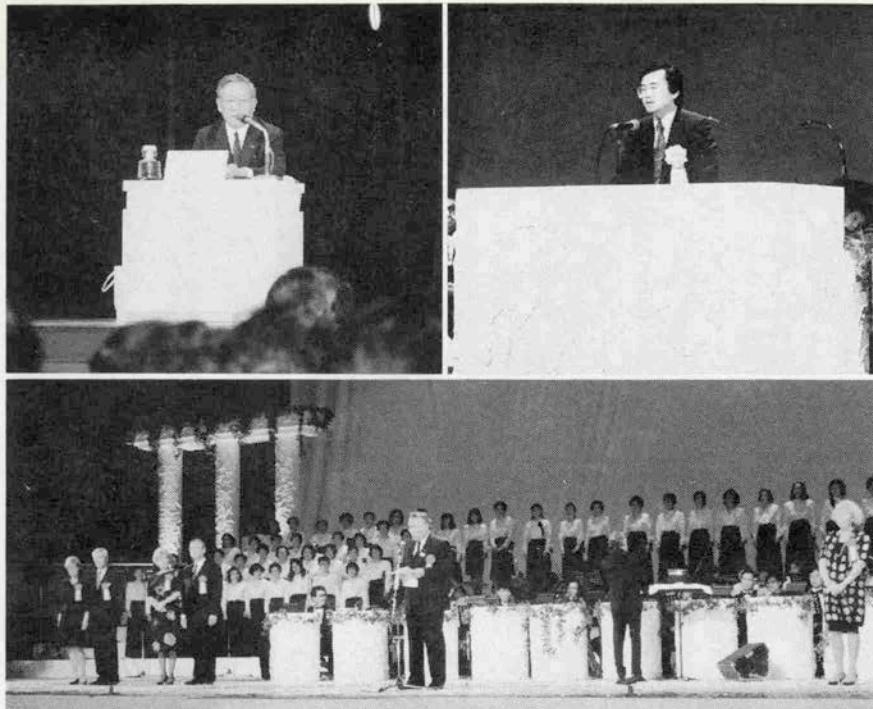


話題のひろば

<II>

コープこうべ

70周年記念式典開催



右上／厚生省社会局生活課課長浅野史郎氏 左上／高村勲コープこうべ理事長
下／アルフレッド・ブスマンドルムント生協理事長

5月23日（木）ポートアイランドのワールド記念ホールに於て、生活協同組合コープこうべ（高村勲理事長）の創立70周年記念式典が執り行われた。

プロローグは、『未来へのシンフォニー』と題して壮大なスケールの舞台演出。卵からの生命の誕生と成長を映し出す脈打つスクリーンそして華麗なダンサーが舞うプロローグ。

コープこうべは、一九二一年という日本の社会にとって大変困難な時期に「スラムからの貧民救済」を訴え続けた賀田豊彦牧師が創立を提案。それを実業家の那須善治氏が受けつぎ灘購買組合が生まれた。那須氏は、経営の面でも才覚を發揮したが、人を育てるのにも熱心で、後進に多くの指導を残した。

それ以来、常にかかげて来たモットーは「愛と協同」。今では65%の組織率を誇り、百万人の組合員を抱える全国最大の生活協同組合となつた。

式典には各界から五千人近い人が集まり、盛大な催しなつた。冒頭に厚生省社会局生活課長浅野史郎氏、貝原俊民兵庫県知事が挨拶、理事長の高村氏は「生協の原点はやはり御用聞きにある。そして70年というのは団体にとっては節目にしかすぎない」と語った。

話題のひろば

<II>

「55年の歴史に さよならコンペ」



中央正面が吉田晴美ママ、あとは高橋、尾籠、神崎、小林、宮本、浜田、澤山、ルルのママ、納屋、福元、岡田、鎌谷の面々。(順不同敬称略)

「三宮ならオアシスで逢おう」というのが私達飲み仲間の合言葉だった。そのJR三宮駅構内の「スナック・オアシス」が、急に、昭和12年グリコ・パークーから始まつた55年間の長い歴史をこの5月25日に閉じることになった。

国鉄時代から、私にとつたら、三宮駅といえば「オアシス」のことであった。三宮駅がある限り「オアシス」はあるものと思っていたから驚いた。驚いたのは私だけではない。「ええ!」「ウツソ!」「ホント!」と、まるで肉親の危篤の報せでも受けたかのように常連が駆けつけた。私も含めて、客は勝手なもの「便利だ」「安い」と、都合のいい時だけ利用していた連中ほど驚きは大きい。「なぜだ……」「なんとかならないのか……」と、さながら闇白亭主が、女房に死なれそうになつて後悔しているみたいだ。

ご主人を亡くして、女手一つでやつてきたママ(吉田晴美さん)の唯一の楽しみがゴルフ。そこでせめてもの「償い」「ゴルフでお別れしよう」と集まつたのがこの写真。ママお馴染みの六甲山は神戸ゴルフ俱楽部のクラブハウス前。

その日はママの新しい人生を祝福するかのような晴天であった。

文・高橋孟



●「神戸っ子のこうべ考」出版記念パーティー開かれる
「神戸っ子のこうべ考」出版記念パーティーが、6月5日、生田神社会館で開催された。この本は甲南大学の「神戸っ子のこうべ考」の講義を一冊の本にまとめたもので、パーティーは華いだ雰囲気に包まれていた。



●「神戸に翼を」、神戸空港推進大会開催される
神戸空港の実現を目指して、6月10日神戸国際会館・大ホールで神戸空港推進大会が開催された。大会では、「近畿圏全体の発展に寄与できる空港を」「環境に配慮した空港を」と熱いメッセージが繰り広げられた。



●石阪春生展、梅田近代美術館で開く
新作“古い椅子に座った人形”50号を始めとする旧作近作の油彩、デッサン、版画など約70数点を並べ（1987年～’91作）る圧巻の作品展。赤や青の鮮明な彩りが今までになくはなやかで熟成度を感じる石阪春生展だった。



●神戸貿易促進センターでユーゴスラビア展開催
5月24日から6月23日まで、神戸貿易促進センターでユーゴスラビア展が開催された。24日はオープニングレセプションで、神戸商工会議所専務理事の石原拓二氏が乾杯の音頭をとった。



● “書を世界に” 望月美佐 '91 誕生パーティはなやかに
6月14日。生田神社会館4F大宴会場で開かれ、アンコールワットトムの遺跡を訪ねたDVA上映や、望月美佐“文字を着る”No.2のオリジナルファッショショーンショーは、きものとドレスの作品で、美佐師ならではの華やかさだった。



● 兵庫日産自動車広瀬新社長ハワイアンナイトで披露
6月9日(日)午後6時半～9時迄、パルデメール号上でサンセットディナクルーズを開催。ハワイからやって来たハイラム・オルセントリオ、地元のポートアイランダースの演奏で、広瀬新社長もお得意の曲を披露した。



●旧居留地連絡協議会がシンポジウム

オリエンタルホテルに於て6月1日(土)第2回旧居留地シンポジウム「旧居留地の役割を探る」をテーマに開催。約300名が参加。アーバンリゾートフェア神戸'93を語り、各地区の街づくりを語り、旧居留地の役割について活発な討論が行われた。



● パールフェスタ '91（第21回）大地真央ゲストに聞く
真珠の日6月1日に神戸ポートピアホテル大輪田の間において約500名のフォーマルパーティを日本真珠振興組合が開催。インターナショナルパールデザインコンテスト、パールエッセイ、パールプリンセスが選考された。

□月刊神戸っ子30周年記念□

<小磯良平遺作展によせて>

画家小磯良平

II 滞欧作と初期作品

山野英嗣

<兵庫県立近代美術館>

REKORI

1903-1988

小磯良平は美術学校卒業の翌年の初夏、念願のパリへと旅立った。そして一足先に渡仏していた竹中郁と合流し、以後約二年間、神戸で過ごした日々と同じように、滞欧中も二人で行動を共にすることが多かったという。さらに当時のパリには、美術学校の藤島教室の同窓であつた荻須高徳、岡田謙三、山口長男他の人々も滞在しており、小磯良平もグラン・ショミエールでデッサンを試みたりもしたらしいが、だからといって特定の画家について油彩画の技法を学んだりするのではなく、ほとんど時間を使自由に美術鑑賞や音楽、演劇、バレエ、サーカスなど、西欧文化の見聞に費やしていたという。またフランスのみならず、イタリア、スペインをはじめとして、積極的にヨーロッパ諸国にも足を運んでいたのである。

精力的にカンヴァスに向かおうとするのではなく、一見余裕すら感じさせる小磯良平の滞欧での日々の生活は、それではその後の彼の歩みに如何なる影響を及ぼしているのであろうか。

今日ではさ程意識もされることであるが、過去のわが國の大抵の洋画家たちにとって、洋画家すなわち西洋画家として立つことを決意したからには、まず本場ヨーロッパで修行を積む機会を手に入れなければならないとする自覚があつた。にもかかわらず、その機会を折角手にしながらも、帰国後一種の挫折感さえ味わねばならないかった画家たちも少なくない。そこには、単なる絵画技術の習得といった事柄だけでは耐え得ない何らかの要因が潜んでいるからであろう。小磯良平は後年、「歴史的な積み上げの順序といふものが日本にはない」と語り、切り花的なわが國の洋画受容のあり方を批判する発言を行つてゐる。幾多の洋画家たちが、帰国後挫折感に陥らざるを得なかつたのも、詰まるところ、小磯良平がいみじくも指摘したような、切実な画家自身の内面から発する本来の自覚がなされていなかつたからに他ならない。逆に小磯良平こそは地味ながらも、わが國の洋画受容の方を問い合わせた使命感をさえ抱いていた。竹中郁は鋭く

と旅立つた。そして一足先に渡仏していた竹中郁と合流し、以後約二年間、神戸で過ごした日々と同じように、滞欧中も二人で行動を共にすることが多かったという。さらに当時のパリには、美術学校の藤島教室の同窓であつた荻須高徳、岡田謙三、山口長男他の人々も滞在しており、小磯良平もグラン・ショミエールでデッサンを試みたりもしたらしいが、だからといって特定の画家について油彩画の技法を学んだりするのではなく、ほとんど時間を使自由に美術鑑賞や音楽、演劇、バレエ、サーカスなど、西欧文化の見聞に費やしていたという。またフランスのみならず、イタリア、スペインをはじめとして、積極的にヨーロッパ諸国にも足を運んでいたのである。

精力的にカンヴァスに向かおうとするのではなく、一見余裕すら感じさせる小磯良平の滞欧での日々の生活は、それではその後の彼の歩みに如何なる影響を及ぼしているのであろうか。

今日ではさ程意識もされることであるが、過去のわが國の大抵の洋画家たちにとって、洋画家すなわち西洋画家として立つことを決意したからには、まず本場ヨーロッパで修行を積む機会を手に入れなければならないとする自覚があつた。にもかかわらず、その機会を折角手にしながらも、帰国後一種の挫折感さえ味わねばならないかった画家たちも少なくない。そこには、単なる絵画技術の習得といった事柄だけでは耐え得ない何らかの要因が潜んでいるからであろう。小磯良平は後年、「歴史的な積み上げの順序といふものが日本にはない」と語り、切り花的なわが國の洋画受容のあり方を批判する発言を行つてゐる。幾多の洋画家たちが、帰国後挫折感に陥らざるを得なかつたのも、詰まるところ、小磯良平がいみじくも指摘したような、切実な画家自身の内面から発する本来の自覚がなされていなかつたからに他ならない。逆に小磯良平こそは地味ながらも、わが國の洋画受容の方を問い合わせた使命感をさえ抱いていた。竹中郁は鋭く

このことを見抜き、小磯良平が「ヨーロッパ文明の積み重なりからにじみ出る生活に根を張って、自ら磨きのかかった油彩のマニエールを、何とか一日でも早く後進性の強いわが国へ移したい」という念願」をもつてたと述べている。換言すれば、それは洋画家自身でも、洋画もわが国が受け入れた洋風文化のひとつであるという、明確な意識をもつことになりはしないか。

そして幸運にも、小磯良平の登場は一九二〇年代という時代の流れの中であった。一九二〇年代は周知のとおり、欧米先進諸国と軌を一にしながら、わが国でも近代都市文化が花開いた時代である。神戸で生まれ育ち、多感な青春時代の一時期を東京で過ごした滞欧前の二大都市での生活経験は、小磯良平の持ち前の近代的感性に一層磨きをかける上で、またとない環境基盤となっていたことだろう。漸くわが国の文化が欧米諸国と肩を並べはじめた一九二〇年代は、今日の都市文化の原型が築かれた時代であり、すでに小磯良平は「T嬢の像」や「彼の休息」の作品で、確かにこの新時代到来の気分を造型化する術を獲得していた。勿論洋画の世界に限るならば、小磯良平の指摘する「歴史的な積み上げの順序」は、欠かすことのできない課題ではある。だが驚くべき早熟の



肩掛けの女 1929

技量をもって、小磯良平は日本人画家にとってのこの難題を克服してしまおうとさえしていたのである。それ故、小磯良平がこの滞欧経験で捉まえようとしていたものこそ、より普遍的なヨーロッパ文化そのものの摄取だつたと思われるのである。

さて、小磯良平が中学時代に竹中郁と連れ立つて、大原孫三郎の西洋絵画のコレクションが公開された時、倉敷まで見に出かけた話は良く知られている。その時小磯良平の印象に残ったものの中に、後の大原美術館の所蔵作品となるシャルル・ゲランの「手鼓を持つイタリアの少女」¹という作品があった。暗い色調で堅固な構成を示すゲランの画風は、滞欧作の「肩掛けの女」や「おさげの女」²にどこか連なっているよう思えてならない。「肩掛けの女」は、サロン・ドートンヌの入選作ともなるが、はじめてパリの地を踏んで、若き日の西洋絵画の実作に触れた時の思い出が脳裏をよぎったとしても不思議ではないだろう。

ゲランはまたセザンヌの影響を受けていたが、水辺の情景を大胆なタッチで描いた「風景」には、セザンヌ風の画面処理の跡を見る事もできる。さらに「風景其の三」³とカンヴァース裏面に自筆で描かれた初公開作では、

フォーヴィー的な手法を大胆に駆使したりもして興味深い。しかしながら、小磯良平の現存する滞欧時の油彩作品は十点にも満たないし、そのいずれもが小磯良平独自の個性を光らせていくとはいい難い。最大の成果は寧ろこの滞欧中に、アングルやマネ、コロー、クールベ、ドガといったフランス絵画の巨匠たち、それにヴェラスケスやフェルメールなどの西洋絵画の実作品を堪能するまで見つめることができたことである。これらの作品群、そしてヨーロッパ文化を見聞吸収することによって、小磯良平は帰国後その成果を次々と披露していく。

小磯良平は一九三〇（昭和五年）年二月、竹中郁と共に帰国した。帰国後早速に全関西洋画展などに出品を重ね、翌年には兵庫県美術家連盟に参加、帝展にも続けて出品している。そして、一九三二（昭和七）年に神戸で本格的なアトリエを構え、画家生活にも一段と拍車がかかるのであった。

帰国後も小磯良平の健在ぶりを如実に發揮した作品が、大作「裁縫女」であろう。この作品はあの「T娘」の像に続いて、第十三回帝展で特選に輝いたものだが、深く沈んだ色調の中にも、何げない白色の効果を巧みに取り入れ、合わせて人物を浮かび上がらせるかのような光の処理法は、明らかに滯歐中に学んだフェルメールからの影響を偲ばせている。加えて、当時のモダンな洋風文化を象徴する洋裁のモチーフは、後に小磯良平の画面にもしばしば登場してくるものである。あるいは、印象風の光の効果を試みた作品に、「窓辺の婦人」を挙げる派こともできるだろう。

小磯良平はまた、港湾都市神戸を代表する画家としても注目を集めようになっていた。それは、一九三三（昭和八）年からはじめられた「神戸みなどの祭」を告知するポスターに、小磯良平の原画が用いられていることからもわかるであろう。「洋和服の二人」と題された作品も、このポスターの油彩原画であり、モダン都市・神戸のイメージを祝祭的に盛り上げるのにふさわしい図柄となっている。この時期には、「T娘の像」で見られた着物姿の女性像の作品も若干目につくものの、さらには新たな女性像を発見する。それがバレリーナであった。

卓抜した描写力に支えられた小磯芸術の心臓は、清楚でありながらモダンな女性像を追求し続けたことにある。その格好のモチーフが、華麗な女性文化の典型であ



化粧 1936

る洋裁する女性の図と、このバレリーナであった。しかしバレリーナといつても、踊る姿を画面に定着させようといった意志は微塵もなく、生み出される画面にはあくまでも静謐さが漂う。そして、晴れの舞台を前に、控えでそっと呼吸を整えているかのような「踊りの前」の緊張感ある瞬時の情景こそ、小磯良平が最も制作意欲をかきたてられるものであったのではないだろうか。こうした静かなバレリーナの像の発見は、「休息するバレリーナ」のようなテーマとしても結晶してゆく。

さらに滯歐での西洋古典絵画の吸収の成果は、裸婦作品に最も堅固にかたちを表している。その代表的な作例が「横臥裸婦」と「化粧」であろう。若々しい女性の肢体を見事に捉えた前者の裸婦と、豊満な肉体の存在感を構成の主軸にすえた後者の裸婦は、共に日本人女性のモデルでありながらも、洋風の室内設定とも相まって、モダンな雰囲気を醸し出すことに成功した作品となっている。

ところで、この時代のわが国の美術界を揺るがした事件として、一九三五（昭和十）年の文部省による美術界統制を目的とするいわゆる帝展改組の動きがあった。とりわけ帝展二部に属する洋画家たちは、この改革に反旗を掲げて二部会を結成したが、再び文部省は組織を改変し、二部会は新しく設けられた文部省主催美術展（新文展）に含められることになった。この機を捉え、小磯良平は猪熊弦一郎、中西利雄らと「新制作派協会」（後に新制作協会と改名）を結成して、反官展の立場をとったのである。一九三六（昭和十一）年のことである。これ以後、小磯良平はこの新制作を主な作品発表の場とす。化粧はその第一回の新制作派展への出品作でも

K.F.S. NEWS 155

コウベ・ファッショントーカエティ

神戸ファッション市民大学OBによるグループ
神戸のファッション都市化をめざす

事務局／神戸市中央区東町113-1 大神ビル9F
月刊神戸っ子内 TEL.078-331-2246

ひめがくランドを見学して



ひめがくランドにて

5月22日、初夏を思わせる晴れわたった朝10時に神戸新聞会館前に集合、約20名がひめがくキャンパスランドに見学に行った。約1時間20分バスに揺られ、着いたのが12時ごろ。

まずは、バンブー植物園を見学。親切なガイドさんの説明をきく。この植物園には約600種類の竹があるという。ひとつくちに竹といっても、竹、バンブー、笹の3種類にわけられる。モウソウチク、ハチク、亀甲竹、シホウチクなど様々な竹がある。次はバンブー資料博物園に。竹博士として世界的に著名な室井教授の長年の研究成果を公開。細長い竹ひごで編み上げた茶器、棹の繊維を口で裂いて作った宫廷扇、ジチ

クの繊維を編んで図柄を描いた掛軸などを展示している。今度は世界の名犬珍犬が大集合しているワンワンカレッジ。中でも極端に美しかったのがシベリアのオオカミ犬。賢そうな目で冷房のきいた別室のガラス越しにじっこっちをみつめている。

今回の見学のメインはなんといってもバイオガーデン。ガラス張りの円形ドーム内にコンピューター制御の水耕システムを導入し、メロン、トマト、サラダ葉、花、ハーブなどの栽培、試作研究を行っている。サラダバーもあって、バイオガーデンでとれたてのサラダ葉、トマトを、そのままおいしく頂ける。おみやげに、プチトマトやサラダ葉を買ってかかる人もちらほら…。ハーブを栽培している温室では、蝶もたわむれていて、ファンタジックな世界にひたれた。

ひととおり見学をおえたところで、VIPルームで昼食。生ハム、玉ねぎの前菜からはじまって、ステーキ、サラダ、食後のグレープフルーツも頂いて皆満腹の様子。おみやげももらってちょうど3時に帰りのバスへ。

●エドモンズ大学のファッションビジネス管理学科開設について

今回のマンスリーで見学させて頂いたひめがくランドの姉妹校である、ワシントン州立エドモンズ大学日本校に平成4年4月から「ファッションビジネス管理学科」が新設されます。

その教育内容は、アメリカ・ファッションの業界での永年の経験と、教師としての信頼を誇る Ross Dennis を主任教師として迎え、主にファッション・マーチャンダイザー養成を目的に授業を行ないます。

プログラムは、買い付け、ファッション動向のマーケティング、コーディネート、宣伝、ディスプレイ、販売、卸売や管理技術などを習得できるよう編成されています。

●8月のマンスリーのお知らせ

とき 8月23日（金） 6時30分

場所 ジャバの奥池山荘

会費 食事付 3,000円

毎年恒例の夏のマンスリーが近づいてきました。今回は神戸アーバンリゾートフェア事務局長の下村繁弘氏を講師にお迎えし、神戸のアーバンリゾートフェアについてお話しして頂きます。かるってご参加下さい。

画期的な殺虫剤の開発をたのまれた

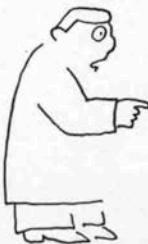
といいますと？



7

蝶、トンボなど人間に愛されている虫には無害で
ハエ、蚊、ゴキブリなど人間に嫌われている連中に
だけ効く殺虫剤なのじゃ

できたのですか？



2

できた
今から実験をするところじゃ



3



4



5

人間に嫌われている連中……



6

神戸を
福祉の街に



参加者たちはエネルギッシュな話しぶりに圧倒されました

KOBE

FUKUSHI

橋本 明

(社団法人家庭養護促進協会事務局長)

国際化は他人を思いやる心から

—石黒マリーローズさんの講演から

石黒マリーローズさんはレバノン人の社会学者言語学者である。一九四三年にベイルートに生まれ、同市の聖ヨセフ大学およびアンシティチュー・カトリック・ドゥ・パリーで哲学の学位を取得。レバノン在住中は数カ國の大使館の外交官や学者を対象にフランス語、英語、アラビア語等を教え、また王室付き師表としてアラブ二カ国の王子たちに接していた。一九六七年から言語と社会学の研究のため、世界五〇カ国を旅し、一九七二年に来日し、貿易商の石黒道兼氏と結婚。現在、英知大學、大阪教育大学、立命館大学で比較文化論、国際化論の講義を担当している。芦屋市に住み、兵庫県の「こころ豊かな人づくり」委員のメンバーの一人として教育問題にも関心が深い。

五月二十九日に家庭養護促進協会の年次総会が開かれ、石黒マリーローズさんに「私の見た日本の親と子——世界から日本をみれば」というテーマで熱っぽく語つていただいたので要旨をご紹介したい。

他人を思いやるやさしさを私は20キロの荷物だけをもって日本へやってきました。日本は豊かで何でもある国になりましたが、私は悲しい、残念な経験も何度かしました。たとえば、ある駅のプラットホームで一人の男の

愛を家庭から学びました

「私の生まれた家庭はお金持ちではありませんでしたが本はいっぱいありました。お屋のランチタイムは三時間もあり、母は毎日フルコースを作りました。その時父は「お母さんがこれだけの料理を一生懸命家族のために作ってくれたのですよ。お母さんに感謝をしましょう」と言って、母に感謝することを子どもたちにも教えていました。また母の方も「お父さんが働いてくれたおかげでこれ全部買うことができたのですよ」と、父への感謝の気持を言葉で表現していました。大切なことは、子どもに理解できる言葉で、感謝をするという気持ちを伝えていくことです。こうして一番大事な愛の基礎を私は親から学ぶことができたのです。

他人を思いやるやさしさを私は20キロの荷物だけをもって日本へやってきました。日本は豊かで何でもある国になりましたが、私は悲しい、残念な経験も何度かしました。たとえば、ある駅のプラットホームで一人の男の

人がホームの端から線路へ落ちそうにフラフラしているのを見て、私は反対側のホームから“危ない”と大きな声で叫んだのに他の乗客は誰も知らん顔をしたままだったのです。また、ある日私は電車の中で立っていて気分が悪くなつたので、窓際に座っている人に“気分が悪いので少し窓を開けて下さい”と頼むと“冷房車なので規則でありません”と言われたり、座席に座っている女性はまったく知らないふりをして誰も何も私の手助けをしようとはしてくれませんでした。降りる時に私はその女性に「今度、心臓などの悪い人がいたら席を代ってあげて下さいね」と言いました。このように子どもたちは、困っている人を見ても何もしない大人たちを見て一体どう感じるでしょうか。こんなところは子どもに見せない方が



身ぶり手ぶりで熱っぽく語りかける石黒マリーローズさん

いいですね。日本人は、知っている人たちにはとても親切ですが、知らない他人には何もしようとしません。知ってる人にも知らない人にも同じようにするべきで、国際化には言葉よりも思いやりの心の方が大切です。」

ペルシャじゅうたんと心は使う程よくなる

「私が教える大学の校門のすぐ前で、テレフォンセックスのティッシュペーパーを配っていました。電話ボックスにもよく広告が貼ってあります。が、なぜみんながもと反対しないのでしょうか。私の国では男性がポルノ雑誌を読んでいたりする女性から顔をこっぴどくひっぱたかれますよ。日本は経済的に豊かな国ですが、物だけの価値感にとらわれてはいけません。“物さえあれば幸せ”と日本の子どもたちが考えているとすればさみしいことですね。私は子どもたちに、人をほめることがよいことをする勇気を教えることが必要だと思います。人生は心の大学なのです。人間として心をつかうことを子どもたちに教えましょう。ペルシャじゅうたんは使えば使う程よくなりますが人の心も使えば使う程よくなるのです。」

いくら時間があつても足りない程のエネルギー性話しひぶりに圧倒され、熱いメッセージが参加者の心によく届いたようだつた。

彼女は四年前に「レバノンの黒い瞳」という、夫とアメリカを旅行した時の見聞記を出版しているが、印税をレバノンの貧しい子どもたちへ送つてある。今回は総会の会場で同書の売上金を里親運動のために協会へ寄贈していただきました。まだ残部が少しありますのでお申し込みは協会（電話三四一一五〇四六）へ。一冊三千円。

“山椒は小粒でびりりと辛い”――。そんな言葉がぴったり当てはまる会がある。有馬の小規模旅館主の集まり、“山椒会”だ。メンバーは九名。九名といつてもメンバーの奥さん、子供さんも顔を出すこともあり、会合は活気にあふれてにぎやかだ。

“山椒会”が結成されたのは、半年前。メンバー旅館の売り上げは、それ全部を合わせても大規模旅館一つの売り上げ四分の一にも及ばないのが現状。収容力では大規模旅館に立ち打ちできないが、小さな旅館なりに何か出来ることがあるのではない。世話役の金井啓修さん（御所坊社長）は、「規模が小さいだけに、それぞれの個性を強く出せるし、宿泊客にもアットホームな雰囲気に接して貢える、という利点を生かしながら、お互いにノウハウの提供や情



“山椒会”のメンバー



小さくとも一味ちがう
山椒会は
有馬の新風だ

湯けむり見聞録

テニスでいい汗
いい湯にとっぷり
味に集う

Sunny Side up
サニーサイドアップ

TEL (078) 903-1024

木造りの宿
御所坊

TEL (078) 904-0551

自然の恵みを
湯けむりに伝える

政府登録国際観光旅館

古泉閣

TEL (078) 904-0731

欽山は典雅な
日本風の館です

国際観光旅館

欽山

TEL (078) 904-0701代

雅ただようくつろぎの館
中の丸瑞苑

TEL (078) 904-0781

会議セミナーから御家族づれまで
有馬グランドホテル

TEL (078) 904-0181

報の交換をやって行きたい。」と話す。

会合には毎回講師が呼ばれる。

第一回は、全国の個性的な小規模旅館をまとめた『小さい宿みつけた』の著者、藤嶽彰英さん。第二回

は『月刊ホテル旅館』編集長、松坂健さんを迎えて、他地域の小規模旅館の現状を紹介するなかで旅館の共通の問題点と対処の仕方などについての情報を提供して貰った。

三回目は六月五日、円山荘で行われた。ゲストは日頃旅館側がお世話を

になることの多い、有馬警察署の刑事課長、井上警部と有馬派出所の横山巡査。これまでよりも話題は具体的があり、小規模旅館がうけることの多い宿泊客とのもめごとについて、メンバーから活発な質問が投げかけられた。

「暴力はどこから暴力とみなして対処すればいいのか。盗難はどの時点で盗難とみなすのか。」等々。お客様第一の姿勢が時に事件解決を遅らせることがある。接待業ならではの難しい質問に、ベテランの井上警部もウーランと腕組み。

それでも今回は円山荘自慢の料理を試食するという、もう一つの目的もあり、ビールも入ってなごやかに会合は進められた。

『山椒会』の今後については、「姉妹提携している北海道の定山渓温泉のように、いずれは有馬でも、各旅館の温泉めぐりができるようになります」と、金井さんが話すようにメンバーの夢は広がるが、今まで防犯上でも、人手不足ということからも実現は難しい。ここにも小規模旅館の悩みがある。

しかし伝統ある有馬にあって、金井さんを始めとする若いメンバーの熱意がたぶんに感じられ、多くの試みが実現しそうな予感がするのだつた。

◀質問にも熱がはいる（右が金井さん）



スカイライナー 六甲有馬ロードウェー

日本最長、延々、
五キロの空中旅情。

TEL 078(891)0031

静寂さにつつまれた
くつろぎの宿

国際観光旅館

陵楓閣

TEL (078) 904-0675
TELEX 5627-115

結婚式場を完備しています



伝統と格式を誇る

兵衛

向陽閣

景勝高台の近代旅館
TEL (078) 904-0501㈹

敷地内から湧き出る
日本最古の温泉“有馬温泉”

阪急ホテルチェーン

有馬ビューホテル

TEL (078) 904-2295㈹

● 温泉と演芸と遊技場

有馬ヘルスセンター

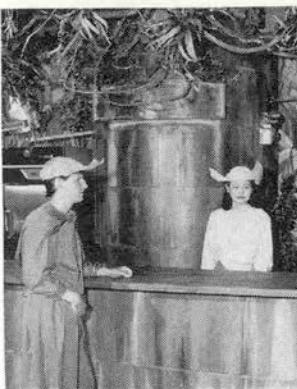
TEL (078) 904-2291



●歴史の価値を掘り起こす

松下衛さん〈オリエンタルホテル取締役総支配人〉

「365日、1分1秒が変化に富んだ仕事をです」学生時代に実習生としてオリエンタルホテルに入り29年。多忙な毎日にも人間同志が理解し合えるすばらしさが魅力的とか。地域と共に歩んできた同ホテルの今後を、「使い捨て時代を反省し古い歴史に根差した運営を」と夢を広げる若々しい方。



NEWS

★UCCの新しい挑戦
文化活動、コミュニケーション活動に積極的な

UCC上島珈琲の「UC
C STAR PORT 2
045」(東京都渋谷区)
は、美しい地球がテーマ
の新しいコンセプト空間
だ。ジョージ・ルーカス
率いるハリーカス・アーツ▽が最先端のテクノロ
ジーと映像を駆使した2
045年の宇宙冒険は、
今まで誰も体験したこと
のない空間が体験でき
る。また、近未来の異次
元をイメージさせるバー
やレストランも融合され
て、今までにないコミュニケーショーンスペースとな
っている。

問い合わせ
03-1327
4-5679

■会場
新神戸オリエンタルホテル
11時~午後6時
8月11日
日時
入場無料

■会場
新神戸オリエンタルホテル
11時~午後6時
8月11日
日時
入場無料



●会場
新神戸オリエンタルホテル
都渋谷区神宮前6-1-2-19迄
住所: 氏名・年齢・職業・電
話番号を明記の上、神戸市中央区東町
113-1 大神ビル9F 「月刊神戸っ子」 神戸百
貨店まで有効です。当選者は神戸っ子から
選書を発送、選書を持って神戸っ子ま
で、プレゼントを受け取りにお出かけ下さい。

●TOPICS
●「第10回ゲーテの詩・朗誦
コンテスト」出場者募集
今年、創業70周年を迎えた
ユーハイムが恒例の「第10回
ゲーテの詩・朗誦コンテスト」
を開催する。出場希望者は、
朗読したい詩を3分以内でチ
ークで記入して、別紙に題名・
住所・氏名・年齢・職業・電
話番号を明記の上、新神戸オリエンタルホ
テルで「プライオリティフロア」
のウェディングが堂に勢ぞ
ろい。ゲストに桂由美さんを

●「涼風の夕べ」土井勝彦料理学
校副校長、土井信子さんのお
話と、旬にこだわったヘルシ
ーなフランス料理が楽しめる
「涼風の夕べ」がホテルゴーフ
ルリツツで行われれる。会費
¥13000

■日時
8月9日(金) 午後
6時~8時30分
於 2F バ
レンシアホール
●「ミキモト夏のコレクシ
ョン」を開催するサマーコレクシ
ョンを題とする「海遊民
族」と題するサマーコレクシ
ョンを開催する。新しい驚き
と不思議な接し方。ミキモト
が自分に戻る。それぞの夏
を提案する。

●おしゃれな女性のための
「涼風の夕べ」土井勝彦料理学
校副校長、土井信子さんのお
話と、旬にこだわったヘルシ
ーなフランス料理が楽しめる
「涼風の夕べ」がホテルゴーフ
ルリツツで行われれる。会費
¥13000

■日時
8月9日(金) 午後
6時~8時30分
於 2F バ
レンシアホール
●「ミキモト夏のコレクシ
ョン」を開催するサマーコレクシ
ョンを題とする「海遊民
族」と題するサマーコレクシ
ョンを開催する。新しい驚き
と不思議な接し方。ミキモト
が自分に戻る。それぞの夏
を提案する。

PRESENT CORNER

応募方法 ●選書に住所、氏名、電話番号、希望する商品名を明記の上、神戸市中央区東町113-1 大神ビル9F 「月刊神戸っ子」 神戸百貨店まで有効です。当選者は神戸っ子から選書を発送、選書を持って神戸っ子まで、プレゼントを受け取りにお出かけ下さい。

KOBE MODERN CULTURE



音 樂

★マクサンス・ラリュー、

安藤史子デュオ・コンサ

ート

7月23日(火) 19時開演 神戸文化ホール・中ホール 4000円

マクサンス・ラリューはフルートの分野で数々の世界的名手を輩出してきたフランスの、モイーズやランバルに続く世代を代表する

巨匠。これらのフランスの巨匠達に共通する華麗な音色に加えて、ひときわ流麗な音楽



安藤
織細な
史子さん
のスター
イルと
音楽
感性を

安藤史子は、1985年神戸女学院大学を卒業し、同大学研究科に進学。その後渡仏しパリ・エコール・ノルマル音楽院に入学し、フランス・フルート界巨匠のクリスティアン・ラルデ氏に師事。関西期待の新進フルーティストである。

★江藤俊哉ギャラリーコンサート

8月17日(土) 19時開演 神戸市立博物館 3000円



栗原 小巻さん



演 劇

★ロマンティックコメディ

7月19日(金) 18時30分開演 新神戸オリエンタル劇場 4000円

彼が結婚した時には、彼女は独身……彼女が結婚した時には、彼が独身。物語はこれから始まる。197



結婚についての物語

一組の男女の結婚当日から子供の結婚。その後、再び二人だけの生活がスタートするまでの50年間、これといつた事件は何一つ起こらないありふれた毎日。しか

平凡な、どこにでもいる一組の男女の結婚当日から二人だけの生活がスタートするまでの50年間、これといつた事件は何一つ起こらないありふれた毎日。しかし

★グリーン・カード

7月下旬上映予定「ピッグ映劇」一般1700円 大高生1400円中学生1200円 小学1000円

ブロンティーはニューヨークに生きるシングル・ウーマン。恋人はいるけれどいまは園芸家として、地球の緑化運動に夢中。たつて



映 画

そ、どんな小説よりも味わい深いドラマチックな人生なのである。



グリーンカード

し、二人にとつては、それらの中での泣き笑いの一つ一つがその時々の大事件であり、そんな普通の日常こそ、

★冬冬の夏休み

7月13日(土) ~19日(金) 「アサヒシネマ」 当日一般1300円

